

長野県飯田高等学校 平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

1 全体目標

社会のありようと自らの進路・職業について考察させ、社会人として自立し社会貢献ができるための基礎力を養成する

2 現状・課題

地元で4年制大学がない飯田下伊那地域の高校生にとり、「大学」を具体的にイメージできる機会が少なく、意欲をもって主体的に学習に取り組ませることに例年、難儀をしている。公共交通機関の利用にも不便さがあり、通学に多くの時間をとられているため、班活動等のバランスをとりながらも十分な学習時間が確保できない生徒も多い。

以上の現状から、学校として他地域・県外にも視野を広げる機会を多く取り入れることで、学習意欲を喚起し、学力向上を支援するとして、大学模擬講義や進路研修旅行での大学訪問、個人で参加するオープンキャンパスや職業体験などにキャリア学習として取り組み、それらの刺激が学習意欲向上となり学力が向上するという、相乗効果を期待して指導計画を立てるものである。

3 つけたい力

- a 自己に対する理解を深め、自己肯定感を高める
- b 自らの考えを論理立てて表現するためのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
- c 幅広い観点からの職業観、勤労観を身につけ、自身の進路選択に反映する力
- d 自らのキャリアプランに合った進学先・学問分野を調査・選択し、目標を設定し、それを実現する力

4 内容

指導項目	指導方針（対応する項目）
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉え、生徒にも意識させる イ 個々の取組のつながりを意識し、3年間の系統的な指導を行う ウ 講演会や体験活動等では、積極的に自ら学び考え、産業構造や社会の変化に適応した勤労観・職業観が形成できるよう、事前事後の指導を充実させる（①②③）
②仕事や社会で必要となる力（基礎的・汎用的能力）を育む	エ 社会や世界の抱える諸課題を複数の視点から見て、問題点を発見し、解決の方法を探るとともに、人間の生き方について考えさせる（①②③）
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	オ 自己肯定感・人権感覚や社会貢献の意識を育て、協調性、社会規範を学ぶ（①②） カ 知識の習得のみならず、思考力、判断力、表現力等を育成し、卒業後の進路実現を目指す（③④）
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	キ 家庭や地域社会、産業力を活用し、キャリアプランニングに生かす（②③④）

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等（実施学年）
教科の授業	・知識の習得とそれに基づいた、思考力、判断力、表現力を育成するため、教授型・演習型にとどまらず、各教科の特色に応じてアクティブラーニングを積極的に取り入れた授業を展開する ・内容を、生徒の身近なもの、将来を展望できるものに関連づけ、課題の発見解決、意見交換、協働などの活動ができるよう意識する
総合的な学習の時間	・「信州学 地元調べ（進路研究・職業観養成）」「大学等の学問分野と職業の連関を学ぶ」（1年） ・「進路研修旅行 大学・企業 訪問・交流」「小論文やプレゼンテーション等を通して表現力をつける」（2年） ・「卒業後の進路目標を明確にし、その実現をめざす」（3年）
特別活動	・自らの生き方、社会人としての在り方を考え、勤労観・職業観を養成するための講演会等を行う ・将来設計、卒業後の進路について考え、目標を立て、その実現に向けた科目選択を行う（1年・2年）
校外の体験活動（就業体験活動等）	・信州学 地元調べ インタビュー調査・文献調査（1年） ・進路研修旅行（2年） ・就業体験、ボランティア、オープンキャンパス（各学年希望者）
地域や産業界等との連携	・信州学 地元調べ インタビュー調査（1年） ・進路研修旅行（企業訪問交流）（2年） ・社会人講話（1年・2年）
評価	・生徒・教員アンケートや面接等でキャリア教育の取組や生徒の意欲・成長を評価し、次年度に反映 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携（指導の継続性）	・学校説明会で高校におけるキャリア教育を説明する ・キャリア教育担当者の小中高連絡会に参加する
校内の推進体制	・進路係が統括する ・全職員で推進する

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○自己を知る、自己肯定観を高める ○社会や職業を知り、職業観を養う ○進路を研究する	○社会における自己の生き方を探る ○自己表現のスキルを高める ○進路を選択する	○具体的な将来設計を行う ○進路目標を定め、実現を目指す
主な取組	○学習方法・表現方法を学ぶ ○地元調べ ○学問分野や学部・学科の調査	○卒業生・社会人から学ぶ ○進路研修旅行と事前事後学習 ○小論文やプレゼンテーションを学ぶ	○進路実現までの具体的な目標設定、計画、及び課題の明確化 ○明確化した課題の解決
評価	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験、校外活動は□で囲んである

	教 科	総合的な学習の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	4 国語「読解を通して他者に関心を抱かせる」 数学「協働的に学ぶ」 英語「コミュニケーション能力を高める」 化学基礎「化学と人間生活」 情報「キャリア学習としての調査・研究、プレゼンテーション能力の育成」 7	《テーマ：自分の可能性を開拓する》 ・高校生活の準備と展望 ・学習の仕方を学ぶ ・スマホ利用法講習会 ・地元調べ発表 ・性教育後援会	・高校生活オリエンテーション ・芸術鑑賞 ・ 地元調べ 調査 ・文化祭(地元調べ発表) ・進路研究・職業研究Ⅰ	・実力テスト ・2者/3者面談 ・進路希望調査Ⅰ ・進路適性検査 ・学習実態調査Ⅰ
	夏休み		・ オープンキャンパス (希望者) * 看護/ボランティア体験 (希望者)	
	9 国語「小論文の書き方1」 現代社会「民主政治・基本的人権」 化学基礎「環境問題 水質・大気」 12	・大学模擬講義 ・大学調べⅠ 学問分野研究 ・人権学習Ⅰ ・探究学習発表会 ・社会人講話 ・小論文について学ぶ	・2年次科目選択(文理選択) ・進路研究・職業研究Ⅱ	・実力テスト ・2者/3者面談 ・進路希望調査Ⅱ ・学習実態調査Ⅱ
	1 国語「自分と向き合う」1年間のまとめとして 学びの記録を通して自己を振り返る 生物基礎「生態系とその保全」 化学基礎「金属と利用の歴史」 3	・小論文演習Ⅰ ・同窓会講演会 ・1年間の活動のまとめ	・進路研究・職業研究Ⅲ	・生徒意識調査(県教委) ・2者面談 ・教員アンケート ・学習実態調査Ⅲ
春休み		・ ボランティアなど		
2 年	4 英語「ディベート能力を高める」 物理基礎「エネルギー問題」 理数科課題研究 7	《テーマ：自分の進路を開拓する》 ・先輩(本校卒業生)から学ぶ ・・・自ら課題をもって討論する ・進路研修旅行事前学習	・進路研究・職業研究Ⅳ ・進路後援会(生徒対象・保護者対象)	・実力テスト ・進路希望調査Ⅲ ・2者/3者面談
	夏休み		・ オープンキャンパス (全員) * 看護/ボランティア体験 (希望者)	
	9 国語「小論文の書き方2」 英語「討論・ディベート」 生物「遺伝子操作と社会倫理」 12	・ 進路研修旅行(修学旅行) ・小論文演習Ⅱ ・大学調べⅡ 学部・学科調査 ・探究学習発表会 ・受験計画立案	・3年次科目選択 ・進路研究・職業研究Ⅴ ・大学入試システムについて理解する	・実力テスト ・小論文テスト ・2者/3者面談 ・進路希望調査Ⅳ
	1 理数科課題研究「プレゼンテーション」 3	・同窓会講演会 ・1年間の活動のまとめ	・進路研究・職業研究Ⅵ	・生徒意識調査(県教委) ・2者面談 ・教員アンケート
春休み		・ ボランティアなど		
3 年	4 国語「評論・古典の読解を通してこれからの生き方を考える」 全教科「進路実現に向けて自らの課題を明確化する」 7	《テーマ：進路実現を目指して》 ・先輩(本校卒業生)から学ぶ ・・・進路実現の過程に着目する	・進路後援会(生徒対象・保護者対象) ・進路研究Ⅶ	・実力テスト ・進路希望調査Ⅴ ・2者/3者面談
	夏休み		・ オープンキャンパス (希望者)	
	9 全教科・・・進路対策受験直前対策 12	・人権学習Ⅲ	・出願説明会 ・小論文個人指導 ・進路研究Ⅷ	・2者/3者面談 ・生徒意識調査(県教委)
1 全教科・・・受験直前対策 3			・教員アンケート ・進路状況まとめ ・3年間の評価	